

経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県恵那市 市立恵那病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	20	対象	ド訓	救へ輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
49,821	30,063	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(総核)
199	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	199
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
199	-	199

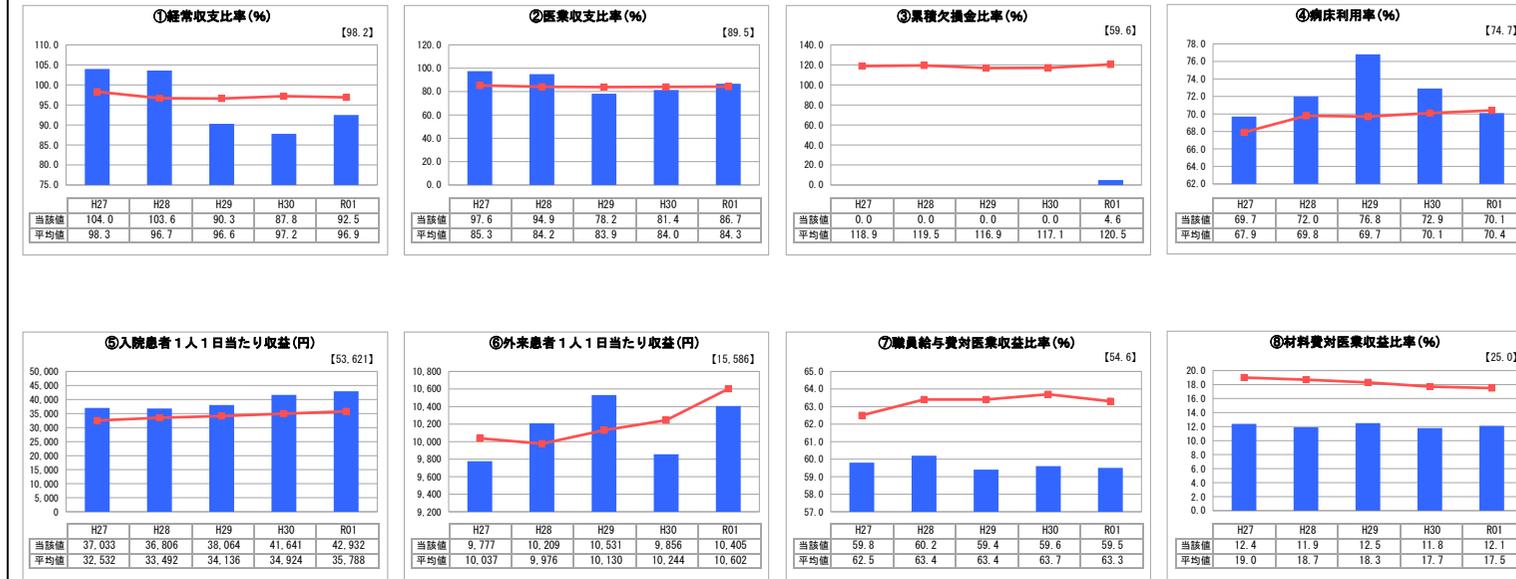
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地域独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	平成15 年度

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

- へき地における医療の提供へき地医療拠点病院として、市内の公立診療所への医師等の派遣。
- 救急医療の提供重症患者の救急搬送受入、休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受入。
- 周産期医療の提供恵那市で唯一の出産可能な医療機関。
- 小児医療の提供恵那市で唯一の小児入院機能を有する専門医療機関。
- 地域医療を担う人材育成臨床研修医協力施設として研修医、看護学生、医療技術学生の研修受け入れの推進。

II 分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率・医業収支比率平成28年度の新病院完成に伴い、固定資産の減価償却費が大幅に増え、費用が増加したために経常収支比率は類似病院平均値を下回ったが、医業収支比率は僅かに上回った。
- 病床利用率平均入院日数の短縮及び新型コロナウイルス流行に対する入院抑制があり、前年度数値よりは下がりましたが、新公立病院改革ガイドラインである70%を上回ることができました。
- 職員給与と費、材料費対医業収益比率職員給与と費・薬品など材料費の占める割合は、類似病院平均値を下回っているため、引き続き適正な

2. 老朽化の状況について

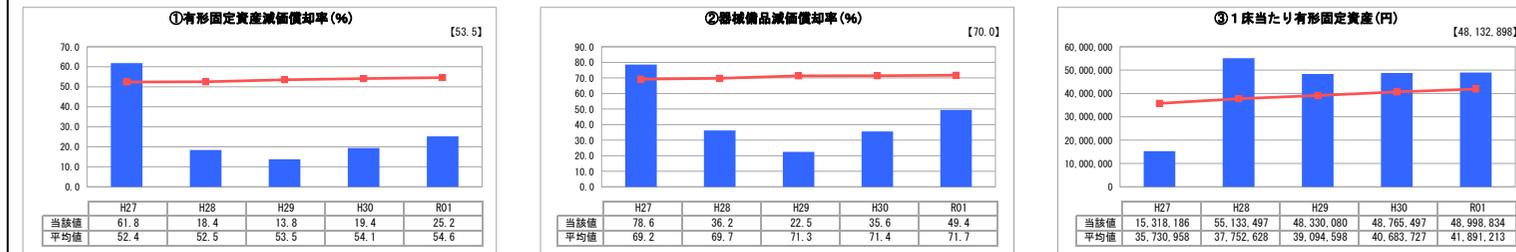
- 有形固定資産減価償却率・器械備品減価償却率平成28年度の新病院完成と、それに伴う機器の更新により、資産の帳簿価値が増加したため、当該数値が大幅に減少しています。今後、機器の老朽化も考慮し、計画的な更新を行っていきます。
- 1床当たり有形固定資産平成28年度に新病院が完成したことにより、固定資産額が増額し、当該数値が類似病院平均値を上回っています。

全体概括

平成28年11月に新病院が開院。その後、血液浄化センター、健康管理センターを開院。平成29年4月には産婦人科を開院し、市内で唯一の出産可能な医療機関となる等、地域に密着した医療サービスの提供に努めています。

経営状況は、新病院建設等による投資的経費の増加により依然として厳しい状況ではありますが、医師や看護師等の医療スタッフの充実、維持確保に努め、効率的な医療機器の活用、更新等を行い、近隣の医療機関と連携を取りながら、地域の中核的な医療機関として安定した医療が提供できるように努力してまいります。

2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県恵那市 国民健康保険上矢作病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
49,821	3,238	第1種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総合）
56	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	56
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
52	-	52

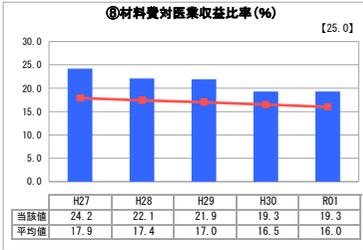
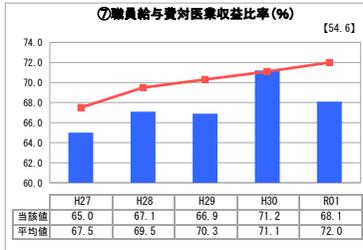
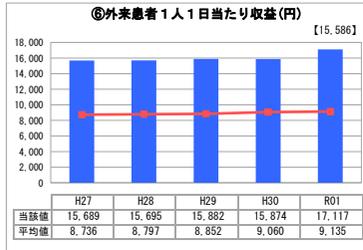
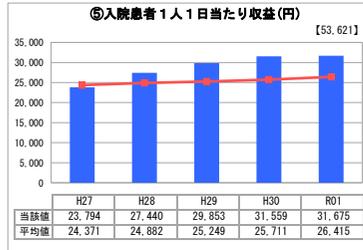
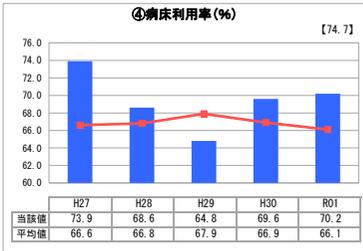
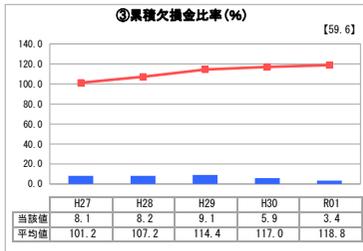
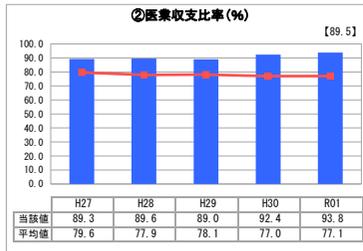
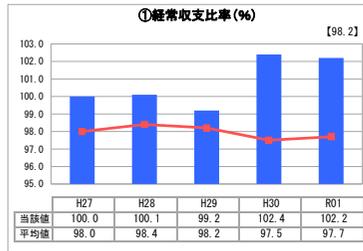
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

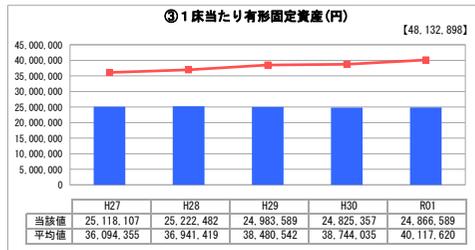
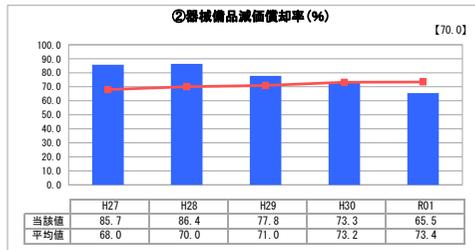
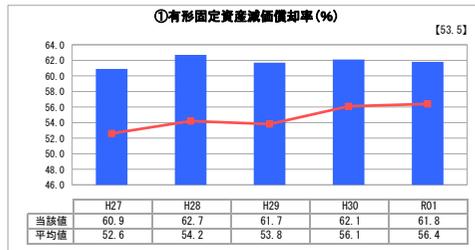
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

- へき地における医療の提供へき地拠点病院として、市内の公立診療所への医師等派遣。
- 救急医療の提供 休日及び夜間における治療を必要とする救急患者の受入。
- 地域医療を担う人材育成 臨床研修医協力施設として研修医・医療技術学生の研修受入指導の実施。
- 地域包括医療 住民が住み慣れた場所で安心して自立した生活が出来るように医療の提供。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率 回復期病床の利用率の向上で医療収益の増加によります。
 ○医療収支比率 病院の医療活動の費用に対する医療収益の割合は、前年度より微増であるが増加傾向にあり、引き続き維持します。
 ○累積欠損金比率 単年度収支を黒字にして累積欠損金を解消するよう引き続き経営努力をします。
 ○病床利用率 70.2%と70%を上回る利用率となり、経営努力により前年度より利用率が向上できました。
 ○入院・外来患者1人1日当たり収益 入院・外来ともに、前年度に引き継ぎ類似病院平均値を上回る事が出来たため、引き続き維持します。
 ○職員給与費対医療収益比率 前年度と比較し減少した要因としては、医師の定年退職が有り、事が減少しました。
 ○材料費対医療収益比率 類似病院平均値より上回っているため前年度同様経営努力をし、経費等削減を目標としますは類似病院平均値にします。

2. 老朽化の状況について

○有形固定資産・器械備品減価償却率 有形固定資産については類似病院平均値より上回っているが器械備品については類似病院平均値より微小であるが下回ることができ、今後老朽化が進み適切な更新等の計画に基づき適宜更新し経営します。
 ○1床当たりの有形固定資産 類似病院平均値より下回っています。過大な投資をせずに今後も適切な更新等の計画に基づき適切な投資を維持します。

全体総括

地域において担っている役割を達成しつつ、地域包括医療・ケアに邁進し健全な運営を行い、令和元年度の経営比較分析表を参考に当院のおかれている状況を把握し運営等に反映します。
 厳しい経営状況の中で医師及び看護師の確保ができ患者数の増加に努め医療収益の増収となり、病床利用率も70%を超えることができ黒字化となりました。
 前年度からの課題となっている材料費対医療収益比率が類似病院平均値を上回っているため、安価な薬品・診療材料の購入に努め今後もより一層健全な経営・運営を図ります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。